



# 江別ユネスコ協会事務局だより 2016年12月12日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:辻本☎381-1069)

## 高校ユネスコ全道大会～札幌で開催！ どなたも出席できます

北海道高校ユネスコ連絡協議会の主催による「第44回北海道高校ユネスコ研究大会」が2017年2月4日(土)～5日(日)に、札幌市豊平区の北海商科大学3階で開催されます。「ユネスコ活動とボランティア活動」が今回のテーマです。ユネスコ活動・ボランティア活動に参加している高校生約150人が全道から集まり、在日外国人・留学生等と活動報告や意見交換を行います。ユネスコ関係者・大学生・一般市民など誰でも出席できます。現代の若者の世界観・価値観を知る良い機会です。皆様もぜひご出席ください。出席希望者は、当協会事務局へ早めに電話等でご連絡ください。

## ユネスコ無形文化遺産に「山・鉾・屋台行事」の登録きまる！

無形文化遺産保護条約にもとづき、2016年の登録について審議するユネスコの政府間委員会(委員国24)が、エチオピア国アジスアベバで開催されて、11月30日、日本が推薦した「山・鉾(ほこ)・屋台行事」の登録を決めました。登録の対象は「高山祭の屋台行事」など全国18府県の33行事で、地域社会の安泰や災厄よけを願い、地域文化の粋を凝らして美しく飾った山・鉾・屋台を引き回す祭礼行事です。33行事のうち「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物」の2件は、すでに2009年に単独で登録されていましたが、近年、同じ分野の文化財を新規登録することが難しい情勢になったので、日本政府はこの2件と同じ分野の31件を1つのグループにまとめて、いわば集団登録を試みて成功した訳です。したがって日本のこれまでの登録件数22は、過去の単独登録分2件が減って、33行事をまとめた1件が新規登録され、都合21件が新しい登録件数となります。

## 2018年の世界遺産登録をめざす「長崎の教会群」は名称を変更！

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産群」は、9月1日に関係自治体が世界遺産登録推進会議を開き、遺産の名称を「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に変更することを決めました。

この遺産は初め2016年の登録をめざしましたが、ユネスコの諮問機関イコモスの勧告に従い、政府は今年2月5日にいったん推薦を取り下げたあと、7月25日の文化審議会で2018年の登録を目標に再挑戦することを決めました。キリスト教の伝道に関する世界遺産はすでに多数ありますが、「禁教・潜伏」に関する文化遺産は極めて貴重であり、ここに顕著な普遍的価値があると強調するための名称変更だと思われます。来年2月1日までにユネスコ世界遺産センターへ正式な推薦書を提出し、9月ころイコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査を受けることになるでしょう。

なお、2017年の登録をめざす「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、9月8日にイコモスから派遣されたクリフトフ・サンド氏(ニューカレドニア)による現地調査を終えています。来年7月にポーランド国クラクフで開かれる第41回世界遺産委員会で審議され、順調にいけば登録されます。

## 「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いします。

## 2017年版「日本的な絵入りカレンダー」を寄贈してください

当協会では「カレンダーの国際交換」活動を実施しています。日本の生活文化を外国の方に理解して頂く方法のひとつです。日本の風景・花鳥・行事など日本らしい絵が描かれたカレンダーが人気で、文字だけのものは不評です。1本でも結構です。ぜひ当協会の事務局までお届けください。

